



UM-8M30A-006

ユーザーマニュアル

インターMブレーキ

重要なお知らせ

- ユーザーマニュアルに記載されていない自転車への取付け、調整、交換などにつきましては購入された販売店または代理店へご相談ください。なお、自転車安全整備士、自転車技士など専門知識を有する方むけのディーラーマニュアルはウェブサイト(<https://si.shimano.com>)で公開しています。

安全のため、必ずこの「ユーザーマニュアル」をよくお読みの上、正しく使用し、いつでも確認できる状態にしておいてください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 危険	「死亡や重傷を負う内容」です。
⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

安全のために必ずお守りください

⚠ 警告

- 自転車は、製品によって取扱いが多少異なることがあるため、ブレーキレバーへの入力や自転車の操作特性などを含め、個々の自転車のブレーキシステムの適切な操作を十分理解し慣れるようにする。ブレーキシステムの操作が適切でないと自転車のコントロールを失い、転倒して大けがをする可能性があります。
- 製品の分解、改造は行わない。動作不良を起こし、突然に転倒して重傷を負うおそれがあります。
- シマノフロントインターMブレーキのブレーキ本体とハブ本体はセットでの使用が必要です(BR-C6050-F/BR-C6060-Fを除く)。シマノフロントインターMブレーキのハブ本体にはパワーモジュレーターが内蔵されています。この装置はある一定以上のブレーキ力に達すると、それ以上のブレーキ力が出ないように制御するものです。ハブ本体がモジュレーター付きでない場合、もしくは、パワーモジュレーター付きのハブ本体やブレーキを使用している場合、総質量が推奨質量に満たない場合、前ブレーキを強くかけると前輪がロックし、自転車が前方向に転倒して重傷を負う可能性があります。なお、パワーモジュレーターが働くときに作動音が発生しますが、異常ではありません。
- BR-C6050-F/BR-C6060-Fパワーモジュレーターの許容総質量(自転車+乗員+荷物)範囲

モデル名	タイヤ外径(mm)	許容総質量範囲(kg)
BR-C6050-F	660 - 712	70 - 100
BR-C6060-F	660 - 712	100 - 130

- 許容総質量範囲内で使用する。総質量が許容範囲外の場合、制御されたブレーキ力が、高すぎたり、低すぎたりする可能性があります。
- 路面がぬれていると、タイヤがスリップし易くなるのでスピードを控えて、早めの滑らかなブレーキ操作をする。タイヤがスリップすると転倒して重傷を負う可能性があります。

⚠ 注意

- 長い下り坂でブレーキを連続してかけ続けず。シマノインターMブレーキシステムの場合、ブレーキ内部が高温になりブレーキの効きが弱くなったり、内部のグリスがなくなり音が鳴る、またはブレーキの効きが急に強くなる等の異常が発生する場合があります。
- 使用中、次のことが発生した場合には、即刻使用を中止し、販売店で点検・修理をしてください。
 - ブレーキをかけたとき、音鳴りがした場合
 - ブレーキの効きが異常に強すぎる場合
 - ブレーキの効きが異常に弱すぎる場合
 1と2が発生した場合は、ブレーキグリスの不足が考えられますので、販売店でローラーブレーキ専用グリスを補給してください。
BR-C6050-F/BR-C6060-F使用時に、2と3が発生した場合は、パワーモジュレーターの作動不良も考えられますので、販売店で点検・修理をしてください。
- 走行後しばらく(30分位)は、ブレーキ部周辺に手をふれない。ブレーキを頻繁に使用した場合、ブレーキ周辺が高温になる場合があります。

ブレーキ部周辺



- ブレーキケーブルがさびていないか確認する。ブレーキケーブルがさびると、ブレーキの効が悪くなります。効が悪くなった時は、新しいシマノ純正ブレーキケーブルと交換し、再度ブレーキの効きを確認してください。
- フロントブレーキユニット及びフロントハブユニットは分解できません。分解するとトラブルや故障の原因になります。

使用上の注意

- フロントインターMブレーキは、停車時にブレーキを強くかけた状態で、車輪を前後に揺ると、構造上、ブレーキ部に若干の遊びがありますが、異常ではありません。また、走行にも全く支障はありません。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗および品質の経年劣化は保証いたしません。

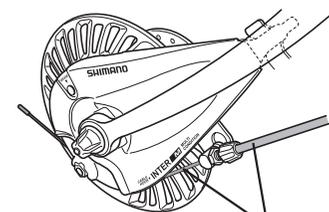
乗車前の日常点検項目

乗車前には下記に記載する項目を点検ください。異常のあった場合は販売店または代理店へご相談ください。

- 前後のブレーキは正しく作動しますか。
- ふだんと異なる音はしませんか。
- ブレーキの効きが異常に強すぎませんか。
- ブレーキの効きが異常に弱すぎませんか。
- ブレーキケーブルにさびはありませんか。

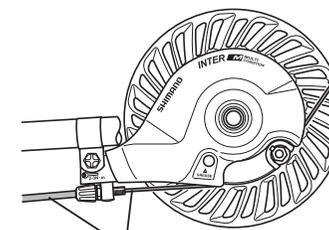
各部の名称

フロント



ブレーキケーブル

リア



ブレーキケーブル



製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口
☎ 0570-031961
Fax. 072-243-7847

株式会社 シマノ
〒590-8577 堺市堺区老松町3丁目7番地